

第620回 定期演奏会

The 620th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

フィンランドの異才、ムストネンのすべて!

自作自演・ピアノ弾き振り・シベリウス交響曲第2番

指揮&ピアノ オリ・ムストネン

Conductor & Piano : Olli MUSTONEN

オリ・ムストネン：弦楽オーケストラのためのトリプティック

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調op.37

シベリウス：交響曲第2番ニ長調op.43

Olli Mustonen : Triptych for string orchestra

Beethoven : Concerto for piano and orchestra No.3 in C minor op.37

Sibelius : Symphony No.2 in D major op.43

©Outi Montosen

京都市交響楽団

2018 2/16金

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, February 16, 2018 / 7:00PM Kyoto Concert Hall

開演前 (午後6時40分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上で開催します。

入場料 **S** ¥5,000 **A** ¥4,500 **B** ¥3,500 **P** ¥2,000 (舞台後方席)当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S** ¥2,000 **A** ¥1,500 **B** ¥1,000

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2018年2月9日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075) 711-3231 ●ロームシアター京都… (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570) 02-9999 Pコード315-350
- ローソンチケット… (0570) 000-407 Lコード53650



©伊藤菜々子

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>
 京都コンサートホール (075) 711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団

第620回定期演奏会

作曲家・ピアニスト・指揮者という多才な活躍をみせるフィンランドの俊英オリ・ムストネンが登場。自ら作曲したトリプティックと自国の作曲家シベリウスの傑作・交響曲第2番を指揮するほか、ベートーヴェンの協奏曲では独奏と指揮を同時に務める「弾き振り」でピアニストとしての才能も発揮します。類希な天才ムストネンのすべてが一夜で聴ける、究極のステージにどうぞご期待ください！

The 620th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮&ピアノ

オリ・ムストネン
Conductor & Piano : Olli MUSTONEN



©Outi Montosen

ラフマニノフ、プゾーニ、エネスクといった偉大な作曲家の伝統を継ぎ、作曲家、ピアニスト、指揮者として非凡な才能を持つ、今日の音楽界において特異な存在である。一人三役での公演も多く、その音楽性は高く評価されている。これまでにソリストとして、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、シカゴ響、クリーヴランド管、ニューヨーク・フィル等の著名オーケストラと、ウラディーミル・アシュケナージ、ダニエル・バレンボイム、ヘルベルト・ブロムシュテット、ピエール・ブーレーズ、チョン・ミンフン、シャルル・デュトワ、クリストフ・エッシェンバッハ、ニコラス・アーノンクール、クルト・マズア、ケント・ナガノ、サカリ・オラモ、エサ=ペッカ・サロネン、ユッカ=ペッカ・サラステ、パーヴォ・ヤルヴィ等の指揮者と共演している。またヴァレリー・ゲルギエフとは幾度も共演を重ね、これまでにマリンスキー劇場管、ミュンヘン・フィル、ロンドン響、ロッテルダム・フィル等と演奏している。2011年にはモスクワ・イースター音楽祭に招かれ、その演奏はモスクワ全土に放映された。近年は自身が作曲した作品を各地で指揮しており、2012年に交響曲第1番《Tuuri》をタンペレ・フィルと、2014年に交響曲第2番《Johannes Angelos》をヘルシンキ・フィルと初演した。2014年にはベッカ・クワシストとメルボルン響とで《ヴァイオリンとオーケストラのためのソナタ》を、翌年にはオーストラリア室内管と《チェロとオーケストラのためのソナタ》を初演し、その後も各地で再演されている。また、2017年ダヴォス音楽祭のコンポーザー・イン・レジデンスを務める。指揮者としてこれまでに、ドイツ・カンマーフィル・ブレーメン、ケルンWDR響、カメラータ・ザルツブルク、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、NHK響のほか、フィンランドの主要オーケストラを指揮しており、弾き振りも数多く行う。ロディオン・シCHEDリンからの信頼は厚く、ピアノ協奏曲第5番を献呈され、シCHEDリンの70歳、75歳、80歳を祝うバースデーコンサートに招待された。ステイーヴン・イッサーリスとは30年以上にわたり共演を続け、2014年にはBISレーベルよりマルティヌーとシベリウス、そしてムストネンの作品をリリースしている。録音は、オンディーヌからのハンヌ・リントウ指揮フィンランド放送響とのピアノ協奏曲全曲のほか、『レスピーギ：ミクソリディア旋法の協奏曲／ローマの噴水』（サカリ・オラモ指揮フィンランド放送響）等がある。また、1997年にリリースしたロンドン・デッカからの『ショスタコーヴィチ&アルカン：前奏曲集』はエディンソン賞とグラモフォン賞を受賞した。ヘルシンキ生まれ。5歳よりピアノ、ハープシコード、作曲を学ぶ。最初にラルフ・ゴトローニに、その後ピアノをエーロ・ヘイノネンに、作曲をエイノコハニ・ラウタヴァーラに師事。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「オペラ・オーケストラ部門賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー 6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回（2016年度）音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月には「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2017 12/27 水
から発売!

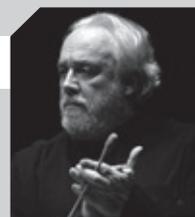
❖ 次回予告 ❖

第621回定期演奏会

ジェルメッティの「ボレロ」～熱狂のクレシェンド 世界屈指のチェリスト、ピオヴァノが奏でるドヴォルザーク

日時：2018年3月17日(土) 午後2時30分開演
2018年3月18日(日) 午後2時30分開演
会場：京都コンサートホール

指揮：ジャンルイジ・ジェルメッティ
独奏：ルイジ・ピオヴァノ (チェロ)
曲目：ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲
ドヴォルザーク：チェロ協奏曲口短調op.104
ラヴェル：道化師の朝の歌
ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
ラヴェル：ボレロ



©Alain Hanel



©Laurence Heym

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)